

— 社会福祉法人 春和会 —

特別養護老人ホーム

タムスさくらの杜 船橋

〒273-0046 船橋市上山町3丁目672番1

☎047-401-9412 FAX.047-401-9413



■居室数
110床全室従来型多床室(内10床ショートステイ)

■アクセス
東武アーバンパークライン「馬込」駅 東口より徒歩9分
JR 武蔵野線「船橋法典」駅
法典停留所よりちばレインボーバス白井線乗車
「法田中学校入口」下車徒歩9分

施設長 籠島 竜太氏



全室従来型多床室ならではの 「スタッフみんなで」の手厚いケア

新設の特別養護老人ホーム(特養)では近年、入居者のプライバシーが保たれるユニット型個室の間取りを採用する例が主流。だが、多床室といわれる従来型の「相部屋」に比べ、個室は入居者の金銭的負担が重い。こんな事情に配慮した、全室従来型多床室の特養が船橋市内に10月1日、オープンする。首都圏で病院や介護ケア施設など約50施設を擁する医療法人社団桐和会(岡本和久理事長)tums(タムス)グループの「タムスさくらの杜船橋」だ。

従来型多床室タイプで 特養選びに幅

tumsグループは病院や特養、訪問看護ステーション、保育園などを東京東部、埼玉、千葉に集中展開し、各施設の連携によって地域包括ケアをグループ内で自己完結させる医療・福祉事業戦略を採る。さくらの杜船橋はグループが千葉県内で運営する2件目の特養となった。

施設は、タムス市川リハビリテーション病院▽タムス浦安病院▽東京さくら病院。

建物の周囲には果樹園や低層住宅が散在する静かな環境ながら、東武アーバンパークライン馬込駅から南へ徒歩9分と交通アクセスにも優れた。

介護は「人ありき」 スタッフを大事に

「実はね、ゲーンと回復するんですよ」。言葉を選びながら話す籠島竜太施設長(45)が一瞬、相好を崩した。心身が弱った入居者が急に健康を回復することは難しい中、介護ケアをどう工夫するか尋ねた時のこと。

複数の特養を擁し、個室と多床室両タイプの運営ノウハウを持つグループだからこそ、従来型多床室を採用し、入居希望者の特養選びに幅が出ることにつながった。

従来型多床室110床(うち10床はショートステイ用)。「相部屋」方式とはいえ、仕切りを工夫するなどプライベート空間を意識した造りにした。主なグループ内連携

際に入居者様の足の垢を手の指で擦り取るとすぐ喜んでくれ、それが嬉しくて、もっと喜んでもらいたいという気持ちで止められなくなりました。「入居者様に喜んでもらうために、何をすべからうか」。介護の道に入ってから25年間、このことを常に考え、実践し続けてきた。

「だからといって、スタッフの工夫に期待するだけといった、働き手の善意を搾取するようなことはしません。スタッフと教育や介護の在り方の工夫は大事ですが、それらを言う前に、悩みや人間関係のトラブル相談に耳を傾け、勤務時間遵守など労働環境を適正にしてスタッフを大事にした。人ありき、の仕事だから。働く場の健全さから。」「働く場の健全さから。働く場の健全さから。働く場の健全さから。」

「やり方によっては多床室採用施設の方が、スタッフ同士で刺激を受け合い、自分のケアを再確認できる機会が広がる。我流の介護でなく、施設内での統一のケア手法が確立しレベルも高まる。それを促すシステムとして、2階の多床室のスタッフを3班、1階のスタッフを2班に分けました。各班リーダーから上る現場の課題を全スタッフで共有します」

スタッフ一同が 創り上げる特養

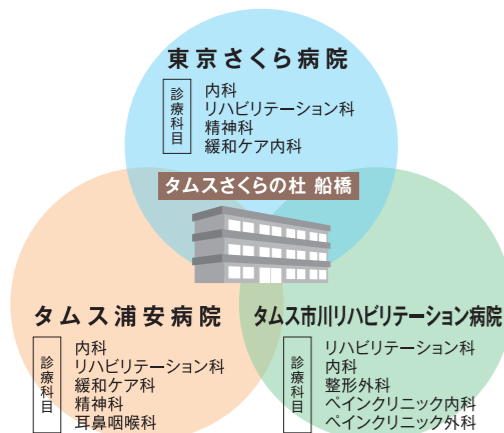
「個人プレーでなくチームプレー。情熱一辺倒でなくシステムづくりに。籠島施設長は介護ケアの要点を指摘して続ける。

「全室従来型多床室であることの利点は、スタッフが多くなる入居者様と接し、顔を覚える人数が



▲従来型多床室はプライバシーにも配慮した4人部屋

■近隣の医療協力機関



揃え直してゆく。何気ない仕草に「喜んでもらうために」のケアスピリットを垣間見た。